

郡山市立富田中学校  
学校だより

No.1

# 手をたずさえて

“富中PRIDE” ~自信と誇り~

自ら学ぶ生徒  
正しく行動する生徒  
健康でたくましい生徒



平成31年4月8日(月)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

## 『7分間の奇跡』新幹線の車内清掃がまさに神業！海外からも賞賛

~誇り高きプロ集団の話~ 平成31年度・令和元年度のスタートです！

新入生228名の皆さん、富田中学校への晴れの入学、おめでとうございます。  
希望に胸弾ませた皆さんを迎え入れることができたことは、本校にとってこの上ない喜びです。心から歓迎します。

東北・上越・北陸・北海道新幹線などが発着するJR東京駅で、日本人からは、「すごい!」「神業!」、外国人からは、「So cool!」「とてもかっこいい!」と賞賛され、毎日行われているのが新幹線の車内清掃です。きみたちの中にも、実際に目にした人もいます。

新幹線の折り返し時間は12分。降車に2分、乗車に3分かかるので、清掃に費やせる時間はわずか7分間。この7分間に清掃員たちが完璧な清掃を行い、それはまるでパフォーマンスを見るかのようで「新幹線劇場」、さらには「奇跡の7分間」とも言われています。

主人公は、JR東日本テクニカルハートTESSEI(テッセイ)の車内清掃のスタッフたちです。1チーム22人。1両約100席のゴミをかき集め、座席の進行方向を変えると同時に座席のテーブルをすべて拭き、窓のブラインドを上げ、窓枠も拭き、汚れた枕カバーを交換します。もちろんトイレも清掃し、どんなに汚れがひどくても、7分間できれいな状態に戻します。終了すると、スタッフがホームにずらりと整列し、一礼をします。時には、乗客たちから拍手がわき起こることもあります。

テッセイのスタッフは礼を欠かしません。列車の入線前にホームに整列し、列車が到着すると、深々と一礼して乗客を迎えます。降車する乗客には「お疲れさまでした」、「ありがとうございました」とやさしく声をかけます。作業終了後の一礼では、ホームで乗車を待つ乗客へ「お待たせしました」と礼を尽くします。これは、「お客さまに気持ちよく新幹線をご利用いただいてほしい」というスタッフ一同の気持ちの表れです。

また、この整列には、他の意味もあります。東京駅のホームには、一部に安全柵もありますが、列車の入線時は動いている車両に接触する危険があります。そこで、テッセイのスタッフは、列車入線時に整列してガードすることで乗客の身を守るという、日本の鉄道には欠かせない安全第一の考えが根底にあるのです。

また、スタッフは、清掃だけでなく重たい荷物で困っている乗客の荷物を率先して運んだり、子ども達にポストカードを配ったりと、乗客のために最善を尽くす「おもてなし」業務を心がけています。

さらに、テッセイはきれいな制服がとても印象的で、帽子には季節により桜、鯉のぼり、ハイビスカスなどが飾られていますが、これらはスタッフのアイディアです。

「たかだか清掃員」というマイナス意識を「リスペクト(尊敬)とプライド(誇り)」によって、誇り高きプロ集団に変え、世界に誇る安全で快適な日本の新幹線運行の大きな力になっているのです。

本校は、教育理念に『富中プライド』という言葉掲げています。この言葉を掲げた理由は、まさしく「7分間の奇跡」を生み出しているテッセイの誇り高きプロ集団が、自分の仕事にプライド(誇り)を持って取り組んでいるように、生徒一人一人、自分の所属する学級・学年、そしてこの富田中学校に自信と誇りを持ち、「富中はすばらしい学校だ!」と自他ともに言えるような誇り高き学校をつくりたいと考えたからです。



新入生のきみたちも今日から、その学校づくりの一員となるわけです。

それでは、『富中プライド』を実現するために大切なことが何かというと、様々な大会やコンクール等において上位入賞することだけではなく、その根っこにあるのは、「挨拶がしっかりできる」、「手を抜かずに清掃に取り組む」、「授業を真剣に受ける」、「善悪の判断をしっかりとつけ正しい行動ができる」、「他を思いやることができる」など、規律ある安定した生活です。まずは当たり前のことを当たり前にできる人間になりましょう。そして、ここぞという時は、決してあきらめることなく最後までやり抜くことです。私たち教職員は、まっすぐな気持ちで頑張るきみたちの手助けになりたいと考えています。

## “別れ”そして“出会い”

～平成31年度入学式校長式辞より～

3月28日(木)には「離任式」が行われ、15名の先生方とのお別れがありました。離任式では15名の先生方から心に染みるお別れの言葉をいただきました。(支援員の塚本先生は終業式の日離任式を行いました。)



離任式

### 退職・転出された先生方

- 大橋克全教頭先生：守山中
- 佐藤浅香先生：退職
- 大槻聖子先生：郡山一中
- 堂山美貴子先生：小野町立小野中
- 結城克明先生：郡山五中
- 園部至哉先生：彰社社北中〔教頭昇任〕
- 穴戸義浩先生：鶴岡市立福島養護学校
- 清水由美先生：郡山四中
- 原田裕也先生：郡山五中
- 安斎智美先生：二本松市立東和中
- 角田秀樹先生：郡山六中
- 和田壮央先生：いわき市立平一中〔新採用〕
- 久保一紀先生：知立矢吹中〔新採用〕
- 柳沼智恵先生：退職
- 岩澤ゆみ子さん(主事)：郡山一中
- 塚本彰夫先生(特別支援教育補助員)：退職

15名の先生方には、富中の生徒をときには優しく、ときには厳しく教え導いていただいたことに深く感謝します。新天地でのご活躍を心より祈っています。

そして、4月には新たに15名の先生方をお迎えし、新たな教職員組織での富中の教育活動がスタートしました。

### 転入された先生方

- 高橋宏信教頭先生：御館中【数学】
- 市橋保司先生：郡山六中【理科】
- 柘沢由紀子先生：大槻中【美術】
- 吉田悟先生：熱海中【技術】
- 松本由里子先生：瀬川粒仁井田中【英語】
- 大浦咲友子先生：安積中【理科】
- 大橋加奈子先生：鶴岡市立清水中(県知事部局)【家庭】
- 田崎慎也先生：西郷一中【理科：新採用】
- 大森さとみ先生：鏡石市立鏡石中【保体】
- 三部まゆみ先生：行健中【音楽】
- 曾根幹二先生：会津若松市立一箕中【数学：新採用】
- 志村隆弘先生：初任研研修コーディネーター
- 矢吹友紀先生：三穂田中【保体】
- 柳沼智恵先生：特別支援教育補助員
- 古川幸子さん：主事

※ 柳沼智恵先生は、養護教諭ではなく、えのき・けやき学級の生徒支援にあたる役職での配置になります。

新たな出会いは、また新たな希望を生み出します。転入された先生方との出会いを大切にしていきたいと考えます。生徒のみんなも、顔と名前を早く覚え、先生方と接してほしいと思います。

## 保護者の皆様へ / 保護者の皆様との信頼関係を築くために

4月8日の入学式では、228名の新入生を迎え、計658名の生徒及び54名の教職員で、平成31年度・令和元年度の学校生活の本格的にスタートしました。

生徒同士、生徒と教職員、教職員同士、更には学校と家庭、学校と地域、学校と関係機関等が、手をたずさえながら学校を運営していくことが何よりも大切だと考えております。特に保護者の皆様との信頼関係や連携なくして学校は機能いたしません。

そんな思いを具現化するとともに、ご家庭と学校の架け橋のひとつになればと考え、今年度も学校だより『手をたずさえて』を発行し、学校や生徒の様子、私の思いなどをお伝えできればと考えております。保護者の皆様におかれましては、今年度の本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



多目的ホール壁画“語らい”